

肖像写真の撮影

福澤諭吉は写真を好み、単身で写っているものだけでも40種類近くあり、集合写真となれば数え切れません。福澤が初めてカメラに収まったのは、幕府の遣米使節として1860年に咸臨丸で渡米したサンフランシスコにおいてと言われています。写真は魂を抜くといった迷信すらあった時代に、使節随行者たちが米国で多くの肖像写真を撮らせて国内に持ち帰ったことの意味は大きく、続く1862年の遣欧使節の際も多くの写真が撮られ、中には人類学の研究に使われたものもありました。



提供：福澤研究センター

演説館の建設

演説や討論の実践のための日本最初の演説会堂として、福澤諭吉の私財を投じて1875年に建設されました。当初は三田キャンパス内の塾監局と図書館旧館の間あたりに位置していましたが、関東大震災後の1924年に防災上の見地から同じく三田キャンパス内南西の稲荷山へ移築されました。瓦葺寄せ棟造り、板瓦貼りなまこ壁の外壁で、ガラスを填めた洋風の上げ下げ窓、玄関にはポーチがある和洋折衷の建物には、日本では従来なかった集会席が設けられ、1967年に国の重要文化財に指定されています。『福澤全集緒言』にて、「其規模こそ小なれ、日本開闢以来最第一着の建築、国民の記憶に存す可きものにして、幸に無事に保存することを得ば、後五百年、一種の古跡として見物する人もある可し」と福澤が述べている日本の誇るべき文化財です。現在は、三田演説会や福澤先生ウェーランド経済書講述記念日の記念講演会など義塾の特別行事の会場として使用されています。



住所変更等の届出

改姓、転居等で氏名や住所あるいは勤務先の変更があった場合には、以下のいずれかの方法で塾員センターにお届けくださいますようお願い申し上げます。

1. メールフォーム [URL http://www2.jukuin.keio.ac.jp/address/index.html](http://www2.jukuin.keio.ac.jp/address/index.html)
2. FAX 03-5427-1546
3. 郵送 〒108-8345 東京都港区三田 2-15-45 慶應義塾塾員センター

※1の方法による場合は、メールアドレスも塾員情報としてお預かりいたします。なお、2・3の方法による場合は、氏名・卒業年、学部、生年月日、自宅住所、自宅電話番号、勤務先を記載のうえ、お届けください。

社中の丘

「卒業生のページ」

Keio University



社中とは、慶應義塾を構成している全ての人を包含する総称です。このページでは特に塾員（卒業生）の方に向けた情報をお伝えします。

慶應連合三田会大会

2022年10月16日（日）に日吉キャンパスで「2022年慶應連合三田会大会」が開催されました。新型コロナウイルス感染症の影響により2020年は開催中止、2021年は大会史上初となるオンライン中心での開催となりましたが、2022年は「つながろう、いま。つなげよう、未来。」をスローガンに日吉キャンパスとオンラインのハイブリッド大会となりました。2020年3月に竣工した日吉記念館では、卒業50年を迎えた1972年ご卒業の塾員の皆さまを招待した記念式典をはじめ、河野太郎デジタル大臣による特別講演や伊藤公平塾長、若手塾員、塾生を交えたパネルディスカッションなどのイベントが開催されました。また、日吉キャンパス内では講演会やトークイベント、3年ぶりに復活した模擬店など大いに盛り上がりました。当日は好天に恵まれ、日吉キャンパスは各地から集まった塾員やその家族などで、賑やかな一日となりました。



✦ 三田会活動支援と個人情報保護の両立への取り組み

慶應義塾では、「氏名」「自宅住所」「勤務先」「メールアドレス」を、ご卒業後も塾員情報として、塾員センターのもとで確にお預かりする仕組みをとっています。この仕組みのもとで、塾員お一人お一人に、慶應義塾からのお知らせをお届けするとともに、三田会、クラス会などの同窓会活動を支援する取り組みにも活用しています。

同窓会（三田会）活動の支援について、地域で活動する三田会からその地域在住の塾員の皆さまに懇親会の開催案内を送付したい旨のご相談を受けることがあります。その場合、あくまでも同窓

会活動に限定のうえで、まず所定の書式に塾員であることが確認できた三田会役員の方複数名の署名捺印をいただき、さらに個人情報の管理体制について問題がないことを確認できた場合に限り、情報提供する方式をとっています。

今後も、同窓会としての三田会活動支援と塾員の皆さまの個人情報保護の両立とのバランスに十分に配慮したうえで、社中の皆さまのつながりが広がるよう取り組んでいきます。また、三田会を統括している慶應連合三田会とも連携して三田会活動の発展に努めてまいります。

慶應オンラインを利用されている方へ

ご登録されているメールアドレスに慶應義塾からの情報や慶應連合三田会からのご通知なども発信しますが、何卒ご了承賜りますようお願い申し上げます。

🍷 ラウンジのご紹介 しゃちゆうこうかん ばんらいしゃ 社中交歓 萬來舎

三田キャンパス南校舎3階にある「社中交歓 萬來舎」は、塾員の方ならびに教職員が世代・分野を超えて集う交流の場です。落ち着いた雰囲気のリウンジで、飲み物や軽食を提供しており、ケーキセット（税込780円〜）などが人気です。お一人でも、歓談や待ち合わせなどにも幅広くご利用いただけます。



個室（有料・要予約）



営業時間

平日：11時～20時
土曜日：11時～17時
日祝：休業

※2022年12月1日現在
※三田キャンパス一斉休職中ではご利用いただけません。
詳細については右記までお問い合わせください。

お問合せ先

電話：03-3453-5661

URL <http://www2.jukuin.keio.ac.jp/lounge/>

🍷 慶應義塾公式グッズのご紹介

慶應公式グッズ

検索



URL <https://keiogoods.jp/>

慶應義塾の取り組みを伝える商品をはじめ、おすすめの公式グッズをご紹介します。売り上げの一部は奨学基金として塾生に還元されています。（価格は全て税込）

純米大吟醸 智徳2022 (5,800円)

鶴岡タウンキャンパスの先端生命科学研究所開発のメタボローム解析を用いて作りしました。山形県産の大吟醸用のお米「雪女神」を100%使用しています。



BRB リボンミニトートバッグ (4,500円) BRB リボン箱型ポーチ (2,500円)

慶應カラー BRB のオリジナルリボン柄と、エンブレムをプリントした生地は、各地の伝統ある祭の山車を飾る幕や、舞台のどんちよう 緞帳を手掛けるメーカーによる一品です。



慶應義塾 高性能不織布マスク (310円～385円)

エンブレムプリント（ふつうサイズのみ、個別包装5枚入）、ペンマークエンボス加工ふつう/小さめ/子ども（個別包装各5枚入）

理工学部応用化学科環境化学研究室が性能評価に協力した高性能不織布マスク。プリントによるエンブレム入りと、場所を選ばず普段使いできるエンボス加工ペンマーク入りがあります。



駿河版（徳川家康による銅活字出版物）・新井白石書簡クリアファイル (250円)

慶應義塾の貴重書コレクションの中から、徳川家康による金属活字出版物『大蔵一覧集』と『群書治要』、『新井白石書簡』をあしらいました。



ヒマラヤ杉 フォトフレーム (4,200円)、ハコ時計 (6,000円)、キーホルダー (800円)

三田キャンパス図書館旧館の耐震補強工事のため、やむを得ず伐採された樹齢およそ90年のヒマラヤ杉を再利用して制作しました。



取り扱い・お問合せ先

慶應義塾三田インフォメーションプラザ1階
電話：03-5427-1436

✂ 慶應義塾のさらなる教育研究の発展に向けて

慶應義塾は、日本を代表する高等教育機関として、多様かつ独創性に富んだ教育研究活動の推進、競争力ある人材の輩出などを通じて、社会に貢献することを目指しています。

このような特長ある活動を支えるためには安定的な財政基盤の確保が欠かせません。慶應義塾では次の取り組みの一層の強化を図ることにより、魅力あるグローバルな総合学府としての歩みを進めたいと考えます。

慶應義塾教育充実資金

慶應義塾は、AI（人工知能）、量子コンピュータ、サイバーセキュリティなど先進的な研究活動の成果を教育にも還元し、常に独自性に富んだ学問を切り開いてまいりました。また、オンラインを活用した国際交流を含めて、学生が世界に踏み出し国際的視野を身に付けるための取り組みも積極的に進めてまいりました。慶應義塾教育充実資金へのご寄付は、こうした先端教育への取り組みをさらに加速させ、未来の先導者として活躍できる人材を育成するため、教育の重点事業に幅広く活用させていただきます。また「誰も取り残されないキャンパス」の実現を目指し、人道的観点から支援を必要とする学生の学びを継続させるため、ウクライナ避難学生の受け入れ支援にも活用させていただいております。

慶應義塾維持会

福澤諭吉逝去直後の1901年に、「慶應義塾を支えたい」との思いを共有する関係者によって設立されました。年額一口1万円からのご寄付で、慶應義塾の多様な教育研究活動をサポートすることが可能な会員制度を設けています。いただいたご寄付を維持会奨学金（2007年度設置の返済不要の奨学金。主に経済的な理由による修学困難な地方出身の優秀な学生を対象とし、今年度までに計1,538名の奨学生を採用）や外灯設置などのキャンパス整備のほか、ポストコロナ社会における最適かつレジリエントな教育研究環境の構築に向けたさまざまな取り組みに有効に活用させていただいております。

この趣旨にご賛同いただき、塾員の方をはじめ、社中の皆さまからのご支援ご協力を賜わりたく何卒よろしくお願い申し上げます。

※慶應義塾教育充実資金に関する詳細情報はこちら



※維持会に関する詳細情報はこちら



※上記取り組みのほか、ご希望に沿った寄付をお申し込みいただくことも可能です。詳細情報・お問い合わせ先は基金室 Web サイトをご覧ください。



<ご寄付について> 慶應義塾へのご寄付は税制上の優遇措置（寄付金控除）を受けることができます。詳細は基金室 Web サイトをご覧ください。



【個人でお申し込みをいただく場合】

インターネット募金

ご寄付の手続き詳細は基金室 Web サイトをご覧ください。



銀行・郵便局（ゆうちょ銀行）

義塾所定の払込用紙をお使いの上、金融機関（銀行または郵便局）の窓口からお振り込みください。お手元に払込用紙がない場合は基金室までご請求ください。



【法人・団体でお申し込みをいただく場合】

基金室までご連絡ください。

お問合せ先

慶應義塾基金室

電話：03-5427-1898（平日 10 時～15 時）

メール：kikin-box@adst.keio.ac.jp